



2012年8月28日

各位

会社名 株式会社日立物流
 代表者名 執行役社長 鈴木 登夫
 (コード番号 9086 東証第1部)
 問合せ先 人事総務本部
 担当部長 柿野 憲昭
 (TEL:03-5634-0307)

会社名 日立電線株式会社
 代表者名 執行役社長 高橋 秀明
 (コード番号 5812 東証第1部・大証1部)
 問合せ先 ビジネスサポート本部
 人事総務部門総務部長 木暮 正一
 (TEL:03-6381-1050)

日立物流に対する日立電線連結子会社「日立電線ロジテック」の 株式譲渡の検討開始に関する基本合意書締結について

本日、株式会社日立物流(執行役社長 鈴木 登夫、以下「日立物流」)と日立電線株式会社(執行役社長 高橋 秀明、以下「日立電線」)は、日立電線の物流業務を行う連結子会社である日立電線ロジテック株式会社(以下「日立電線ロジテック」)の全株式を日立物流に譲渡することについて両社間で検討開始することを基本合意しましたので、お知らせいたします。なお、本株式譲渡の条件等については、今後の両社間の協議により決定してまいります。

1. 本件の背景と目的

日立物流は、2015年度の経営目標を「連結売上高 7,500 億円、連結営業利益 450 億円」と定め、「業界プラットフォーム事業(*)を中心とした国内事業の拡大」、「ネットワーク連携強化によるグローバル事業の拡大」等を成長戦略に掲げ、物流子会社等の株式譲り受けにも積極的に取り組み、当目標値の達成をめざしております。

一方、日立電線は、中期経営計画「リニューアル・プラン“BRIDGE”」(対象年度:2010年度~2012年度)の下、事業の選択と集中及び固定費の圧縮等により、「経営基盤の強化と事業構造改革」を進めるとともに、社会インフラ分野へ経営リソースを集中し、また、海外事業を強化することにより、「グローバル成長戦略の実行」に取り組んでおります。

また、日立グループでは、グローバル市場での持続的成長を実現するべく、コスト構造の抜本的な改革によりグループとしての競争力向上を図る「Hitachi Smart Transformation Project」を推進しており、両社とも、グループの一員として積極的に本プロジェクトに参画しております。

そのような中、本株式譲渡により、日立物流では業界のプラットフォーム事業の基盤となる会社を新たに加える一方、日立電線では事業の選択と集中を進めることにより、両社ともに、効率化とさらなる事業拡大をめざしてまいります。

*同一業界の複数の顧客を対象に効率的な運営が可能な共同保管・共同配送を実施する事業

2. 日立電線ロジテックの概要 (2012年3月31日現在)

(1) 名 称	日立電線ロジテック株式会社
(2) 所 在 地	茨城県日立市日高町五丁目3番3号
(3) 代表者の役職・氏名	取締役社長 石川 正昭
(4) 事 業 内 容	日立電線グループの物流業務全般
(5) 資 本 金	320 百万円
(6) 純 資 産	2,957 百万円
(7) 総 資 産	6,366 百万円
(8) 売 上 高	14,170 百万円(2011年度)

3. 株式譲渡期日

2013年3月1日(予定)

4. 両社業績に関する今後の見通し

本株式譲渡に伴う2013年3月期の両社の連結業績予想及び、2014年3月期以降の両社の連結業績に与える影響については、株式譲渡契約締結に向けて両社で諸条件を協議していく中で、精査してまいります。

以上